

Syllabus Id	syl.-072533
Subject Id	sub-072-007000
更新履歴	070316
授業科目名	英語（選択：英語） English (English)
担当教員名	種村俊介 (TANEMURA Shunsuke)
対象クラス	全学科5年生
単位数	2履修単位
必修/選択	選択
開講時期	通年
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	D5教室

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

「英語再入門」コースである。5年間の高専における英語学習を経て、英語の重要性が将来増すことはわかっていても、苦手意識を払拭できないでいる学生のために、英語の基本的な学習を通して、少しでも英語がわかり、実力がつくように工夫していく。英語の音声的特徴の学習から読解技術の習得まで幅広い項目を学習する。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

高校1・2年生修了程度の基礎的な英語力。

学習・教育目標	重み	目標	説明
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
学習・教育目標の達成度検査	1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。 2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。 3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。		

授業目標

1. 自信をもって英語の発音ができるようになること。特に、r, f, v, th, s の5種類の子音を使いこなせるようになること。さらに、これらの子音を聞き取ることができるようになること。
2. 自信をもって英文を音読できるようになること。
3. 高校1・2年生レベルの簡単な英文を理解できるようになること。
4. 英文の基本的な構造を理解し、英文読解に役立てられること。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メ イ ン テ ー マ	サ ブ テ ー マ	参観
第1回	前期オリエンテーション	授業概要、目標、スケジュール、評価方法とその基準などの説明。	
第2回	英語の発音 r の発音	音読活動、リスニング活動	
第3回	英語の発音 f の発音	音読活動、リスニング活動	
第4回	英語の発音 v の発音	音読活動、リスニング活動	
第5回	英語の発音 th の発音 その1	音読活動、リスニング活動	
第6回	英語の発音 th の発音 その2	音読活動、リスニング活動	
第7回	英語の発音 s の発音 及び まとめ 1	音読活動、リスニング活動 第6回までのまとめ、質疑応答及び補充	
第8回	前期中間試験		
第9回	辞書を使う・読む その1	単語学習、読解活動、英作文	
第10回	辞書を使う・読む その2	単語学習、読解活動、英作文	
第11回	辞書を使う・読む その3	単語学習、読解活動、英作文	

第12回	英語のスピーチ その1	スピーキング活動、リスニング活動	
第13回	英語のスピーチ その2	スピーキング活動、リスニング活動	
第14回	まとめ 2	第9～13回までのまとめ、質疑応答及び補充	
第15回	前期末試験		×
第16回	後期オリエンテーション	授業概要、目標、スケジュール、評価方法とその基準などの説明	
第17回	読解技術 その1	スキミング	
第18回	読解技術 その2	推測、文脈を利用した単語学習	
第19回	読解技術 その3	推測、文脈を利用した単語学習	
第20回	読解技術 その4	英文トピック	
第21回	読解技術 その5	英文パラグラフ	
第22回	読解技術 その6	英文パラグラフ	
第23回	読解技術 その7	フレーズリーディング	
第24回	読解技術 その8	スキミング	
第25回	読解技術 その9	速読	
第26回	読解技術 その10	多読	
第27回	読解技術 その11	多読	
第28回	読解技術 その12	多読	
第29回	まとめ 3	第17～28回までのまとめ、質疑応答及び補充	
第30回	後期末試験		×

課題とオフィスアワー

授業中に指示する。

評価方法と基準

評価方法

定期試験および小テストは、テキスト・配布プリントから主に出題する。授業中の活動・発表、課題提出、授業態度、学習意欲も評価する。

評価基準

定期試験・小テストの成績 - 50～60%、平常点(活動・発表、課題提出、授業意欲) - 40～50%、学習到達達成度自己評価 - 若干。

教科書等	『英語耳』松澤喜好 (アスキー) 1,800円 + 税
先修科目	総合英語、英語W、英語C
関連サイトのURL	http://nact-na.numazu-ct.ac.jp/ANET2/ ALC NetAcademy 2
授業アンケートへの対応	見やすい板書を心がける。授業の目標を明確にする。状況(クラスの能力水準、学習意欲等)によって教材も進度も適宜変更する。
備考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。